

全国145校・2万人超が受講する中学生向け出前授業 ボランティアの魅力を伝える特別授業「ボ学」 実施校を募集中

日本財団ボランティアセンター（以下日本財団ボラセン、東京都港区、会長 山脇 康）は、中学生向けボランティア出前授業「ボ学（ぼがく）」の2026年度実施校を募集しています。

「ボ学」は、全国の中学校へボランティア経験者の講師が訪問し、実体験や映像教材を通じて、ボランティアの楽しさ、多様な社会との関わり方、自分にもできる社会参加について伝える特別授業です。

2022年の開始以来、2025年度までに全国145校、21,377人の生徒が受講しており、毎年継続して導入する学校も増えています。

■「ボ学」とは

「ボ学」は、中学生向けに開発した45～50分の出前授業プログラムです。

講師には、災害支援、スポーツ大会、環境保全、地域活動、海外支援など、さまざまな現場で活動してきたボランティア経験者が登壇。写真・動画・実際に使用したグッズなども活用しながら、リアルな体験をわかりやすく伝えます。

ボランティア経験者が講師として学校を訪問し、自身の体験談や映像などを用いながら、ボランティアの魅力やその楽しさ、社会的な意義を伝えます。



■「ボ学」の3つの特長

①学習指導要領にも対応した授業内容

道徳の学習指導要領の項目にも記載されている、思いやりの大切さや、社会参画の意義を伝えます。また、キャリア教育につながる授業として、働くことの意義に気づき、将来の進路を考えることにも役立ちます。

②学校・地域のニーズに応じて調整可能

各校の要望をお聞きし、適任の講師・ニーズに沿った内容で実施できるように調整します。学校行事や地域イベント、時事問題などに合わせた開催も可能です。

③講師・教材・進行すべて無料で提供

授業実施に必要なものは、すべて日本財団ボランティアセンターが用意。先生方のご負担を最小限に抑え、スムーズな導入が可能です。

■開催実績（2022～2025年度）

実施校：145校、受講生徒数：21,377人

実施都道府県：茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、宮城県、長野県、京都府、大阪府、兵庫県

■実施概要

対 象：全国の中学校（小学校・高校向けアレンジも相談可） 形 式：対面での出前授業
時 間：45～50分程度（調整可） 費 用：無料
申込方法：公式サイトより受付中 (<https://www.volacen.jp/project/vogaku/>)

【ボ学紹介ページ】



■参加者の声

生 徒：「ボランティアが楽しいものだと言われて、これからボランティアをしようという気持ちの後押しをもらった感じがしました」

「誰かのための活動で始めたものが、その活動を通して地域の人や事業を知ることによって巡り巡って自分の役に立つだろうと思いました」

教 員：「生徒たちにとってとても良い機会になりました。内容もわかりやすく、ボランティアが人の為だけでなく、自分の成長にもつながることを理解することができました」

公益財団法人日本財団ボランティアセンター（日本財団ボラセン） 概要

日本財団ボラセンは、2010年にNPO法人日本学生ボランティアセンターとして設立し、学生のボランティア活動支援をスタートさせ、2022年3月までに東日本大震災の被災地にのべ1万2千人以上の学生を派遣しました。2021年に「公益財団法人日本財団ボランティアセンター」へと名称変更し、学生だけではなく幅広い世代を対象に、ボランティアに関する事業を実施しています。東京2020大会ではボランティアへの研修など育成事業に携わり、その後も世界陸上など、大規模イベントのボランティア養成やボランティア団体の支援も行い、全国120大学とボランティアに関する連携協定を締結しています。運営するボランティアプラットフォーム「ぼ活！」の登録者数は現在約5.4万人にのぼります

所在地：〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2 日本財団第二ビル4階 代表者：会長 山脇 康